

The magazine for high net worth individuals

SEVEN

MONEY CULTURE

autumn 2004

009

世界を舞台に活躍する
資産家のための
マネーカルチャー誌
「セブンマネーカルチャー」

パトロンへの道-9

愉楽の“japan” 京漆器 象彦

1億円からの資産防衛術-9

資産防衛と企業防衛一体型
プロフェッショナル生命保険術

Hawaii Collection

特集

On a Slow Boat to Heaven
夢の航海から、
スローライフが始まる。

特集

フレンチ
スタイルに
魅せられて

FRENCH STYLE LOVERS

PATRICK LOUIS VUITTON

1854年の創業以来、実に150年もの長きにわたり、輝かしい成功の足跡を刻み続けるルイ・ヴィトン。その存在は、単に華やかであることのみにとどまらず、旅行鞆として最高の実用品を追い求めるエスプリによって、高度に洗練された姿へと高められている。このほど日本で催された、創業150周年記念イベントに、五代目当主、パトリック・ルイ・ヴィトン氏が来日。お話を伺った。

写真：矢野信夫 撮影協力：フォーシーズンズホテル丸の内東京

150年という、その壮大な歴史の一端をお聞かせいただけますか？

LVについては創業者のルイがパリにきたときからルイ・ヴィトンの歴史が始まりました。彼は、ナポレオン三世皇妃の持つ大量のクリノリンを収納する荷造り職人として、いち早く名声を得て、オペラ地区に店を出すことを決意しました。その後の仕事も順調に進み、それまでのアトリエが手狭になり、最初の生産工場の地となるアンニエールに拠点を移すことになりました。それ以来アンニエールの工房は、1860年代から現在に至るまで、ルイ、ジョルジュ、ガストン、父（ヘンリ）として私と、実に五代に渡るルイ・ヴィトン家を支え続け、その名声、国際的評価もすべてこの場所が築き上げてきました。私たちファミリーにとっては、アンニエールはもの作りの出発点であるとともに、喜びと悲しみの生まれる場所でもあります。子供が生まれたり、病に倒れる人がいたり、ひとつのファミリーが様々な出来事を体験した場所でもあるのです。

アンニエールには何回もお招き頂き、ありがとうございます。本当に、特別な雰囲気があるところですね。

LVはい。しかもこの工場で醸成されるその独特な雰囲気は、他の場所へも伝



わっていくものであると感じています。つまり世界中にある37店舗のどここのルイ・ヴィトンであっても、この雰囲気がありのままだに伝えられ、高品質の製品や接客の良さもお感じいただけるわけなのです。

ルイ・ヴィトンの心臓ともいえる「スベシャルオーダー」に関してお話しただけですか？

LVはスペシャルオーダーは、個々のお客様のニーズを満たすサービスのひとつとして、私たちが考えるフィロソフィの表れです。このサービスとは、特別な条件下で旅をする方のために、オーダーメイドで鞆をお作りすることに

他なりません。ビジネスマン、アーティストをはじめ、様々な方々が必要とされる鞆を求めて、ルイ・ヴィトンのお店をお訪ねになります。そういったお客様一人一人に合わせて、デザインを起し製作するので、一品一品に、独自のストーリーを持ったものになるのです。

市川清老蔵さんへも、特別な製品を作られたんですよね。

LVは個人的な友人であり、海老蔵家というイベントもありましたので、昨年来日した際に、彼の要望を聞いて、デザインを起しました。このケース（鏡台）にはまさにルイ・ヴィトンのスベシャルオーダーの精神が凝縮されています。化粧道具を旅行に持っていくために、まずそれらを収納するものが必要であり、現場に着くや、そのまゝ鞆を開き化粧を始めることができると、というのが彼の要望でした。この要望を受けてお作りいたしました。このケースも、通常のスベシャルオーダーのプロセスでお作りしたに過ぎません。もし、別の歌舞伎役者が私のところに来て、同じものが欲しいと頼まれてもお断りするでしょう。海老蔵さんと同じように要望を伺った上でデザインを起し、その方のニーズにあった、たった一つのものを作るからです。

パトリック・ルイ・ヴィトン氏

ルイ・ヴィトン家5代目当主。1973年、ルイ・ヴィトンのビジネスに加わる。以来、製造、技術部門の要職を務め、現在はスペシャルオーダーの最高責任者および広報に携わる。



つまりスペシャルオーダーとはひとつひとつについては話し合いをし、形にしていく、これがルイ・ヴィトンのエスプリというわけなのです。

パトリックさんから見たルイ・ヴィトンの製品は、どのようなものなのでしょう？

LV・ルイ・ヴィトンの製品は、実用的な製品でなければなりません。つまり、旅行するために作られた、実用品なのです。お客様の荷物を、いかに最高の状態で旅行にお持ちいたたけるか、ということを第一に考え、ルイの時代から技術の進歩とともに、もの作りを進めてきました。150年という長い歴史の中で、私自身はその内の30年を一緒に過ごしてきました。この30年間という道程に参加できたことに、とても感激しています。私がこれほどまでにこの仕事に熱中できるのは、ルイ・ヴィトンこそが私にとっての天職であるに他ならないからなのです。

矢嶋聡子（やしまさとし）＝インタビュアー
CORESLTD. 代表取締役。聖心女子学院卒業後、スイス、フランスへ留学。欧州国連本部、小谷正一事務所を経てCORESLTD.を設立。主な仕事は、国際文化交流事業企画運営、PRコンサルタント、衛星テレビのプロデューサー、エッセイストとしても活躍。